

# 教養プロジェクト(クラシック)

---

橋本ゼミ二年 横山真理

# クラシック愛好のきっかけ

---

- ・小学生の頃、インターネットで無料視聴という文字に惹かれ、クラシックをよく聞くようになった。
- ・黒鍵のエチュードを聞いて感動して、何回も聞いた。こんな難しそうなお曲を弾ける人がいるなんて！と思った。
- ・のだめカンタービレがそのとき流行ってて、ドラマ効果もあってか、ますますクラシックが好きになった。

# 1. ラヴェル(1875ー1937)

---

- ・のだめカンタービレの映画でのだめが「鏡」という曲を弾いていて惹かれたのがきっかけ。
- ・今一番好きな曲は「亡き王女のためのパヴァーヌ」だが、「水の戯れ」と非常に迷う。
- ・今までラヴェルが一番好きだと答えてくれた友達が一人だけいる。



## 2. ショパン(1810ー1849)

---

- ・クラシックを聞き出したきっかけ、「黒鍵のエチュード」の生みの親
- ・エチュードは練習曲という意味だが、全然難易度が練習曲じゃない。リストが唯一初見で弾けなかったのが「木枯らし」。
- ・「別れの曲」が有名。



### 3. リスト(1811ー1886)

---

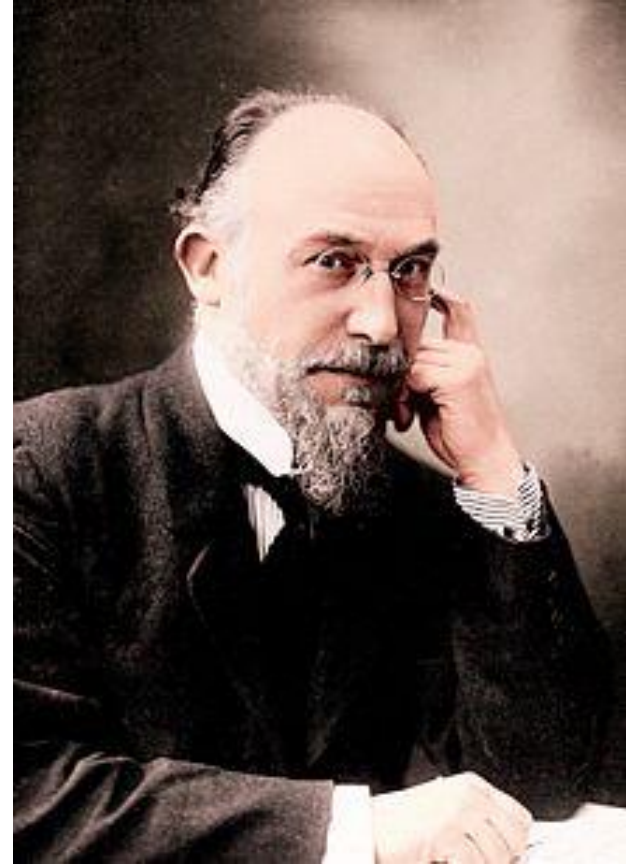
- ・のだめカンタービレの映画に登場していた「超絶技巧練習曲」で好きになる。
- ・有名な曲は「ラ・カンパネラ」「愛の夢」等
- ・初見でピアノ曲を弾くことに定評があったらしい。



## 4. サティ(1866ー1925)

---

- ・気持ち悪い題名の曲を量産してゆく。曲調も不思議。「犬のためのぶよぶよとした前奏曲」「干からびた胎児」等
- ・有名な曲は「ジムノペディ」
- ・好きな曲は「グノシエンヌ」



## 5. ドビュッシー(1862ー1918)

---

- ・「月の光」
- ・若干の違いはあるが、ラヴェルと曲調が似ている。



# のだめカンタービレに登場した作曲家

6. ラフマニノフ(1873ー1943)
7. フォーレ(1845ー1924)
8. ハイドン(1732ー1809)
9. ドヴォルザーク  
(1841ー1904)
10. モーツァルト  
(1756ー1791)





# 番外編 ブルグミュラー

---

- ・ピアノを習いたての人はブルグミュラーの練習曲集を渡される。
- ・単純な譜面の割には綺麗な曲がそろっている。
- ・私は弾けない。

